

東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo



1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。音楽監督山田和樹。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。2024年10月にモナコ・フランス・ルクセンブルクを回るヨーロッパツアーを敢行。山田和樹指揮モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団とは、同団初演作品であるサン・サーンス歌劇『祖先』を再演。現地メディアからも高く評価され、大きな成果をおさめた。
WEBサイト <http://toukon1956.com/>

©中村紋子



Yoshinao Kihara

指揮 キハラ 良尚

16歳より指揮を小澤征爾氏に師事。グラーツ国立音楽大学より最優秀評価として[Würdigungspreis]を受賞。第25回五島記念文化賞オペラ新人賞、オペラ公演の指揮を通じ第31回三菱UFJ信託音楽賞、第35回ミュージックペンクラブ音楽賞(現代音楽部門)を受賞。Rohm Music Foundation奨学生、本庄国際奨学財団奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員。Tokyo Cantat 第4回若い指揮者のための合唱指揮コンクール優勝。弦楽四重奏曲『Momentan』がハイドン没後200年記念作曲コンクールに入賞、オーストリアにてAREA Quartetにより初演。神奈川県民ホールにてP.グラスのオペラ『浜辺のアインシュタイン』、新国立劇場オペラ研修所『Scenes Recital 2023』などを指揮する他、ポーランド国立放送響、ベルリン・ドイツ響、都響、京響、OEK、ウィーン楽友協会合唱団、新国立劇場合唱団他を指揮。現在、東京混声合唱団常任指揮者。

ピアノ 魚谷 絵奈

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業。在学中ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院へ留学、東京藝術大学卒業後もザルツブルクにて名教師故ハンス・ライグラフ氏のもと研鑽を積む。2006年 第13回ブラームス国際コンクール第3位、日本国内においても多数受賞。これまでに東京、大阪、台北、バイエルン州(ドイツ)、ストックホルム(スウェーデン)にてソロ・リサイタルを開催。またソリストとして芸大フィルハーモニア、東京都交響楽団、大阪交響楽団、京都市交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京エラート室内管弦楽団、韓国城南市立交響楽団等と共演。これまでに熊谷恵美子、小林仁、伊藤恵、三木裕子、故ハンス・ライグラフの各氏に師事、現在洗足学園音楽大学ピアノ科非常勤講師。



©A.Muto

【お問合せ】



ふじみ野
ステラ・ウェスト
Fujimino Stella West

【住所】〒356-0058 埼玉県ふじみ野市大井中央2丁目1-8
【TEL】049-261-0648
【メール】stella-west@f-bunka.jp
【開館時間】9:00~22:00
【休館日】毎月第2月曜(祝日に当たる場合はその翌日)・年末年始



ホームページQR